

「地域枠」での長野県医学生修学資金貸与制度について

信州医師確保総合支援センター
(長野県健康福祉部 医師・看護人材確保対策課)
(信州大学医学部地域医療推進学教室)

はじめに

本邦では医師の不足、地域偏在、診療科偏在は依然として大きな社会問題となっています。とりわけ、地方においては深刻な状態が続いていることから、医師不足や偏在の是正を目的として実施される、医学部定員増による「地域枠」の設定には大きな期待が寄せられています。「地域枠」制度は、地域医療を担う医師を養成し、上記の問題解消に資することを目的としたもので、大学の使命の一つである地域医療を担う医療人育成の観点からも重要な制度です。

令和3年度の信州大学医学部医学科の入学試験より、長野県医学生修学資金の貸与を在学期間中に受けることが地域枠で選抜される必須条件となりました。修学資金貸与制度は、地域医療の推進を目的に各都道府県で実施される制度です。しかし、貸与者個人にとっては、少なからず卒業後のキャリア形成に係わる制約などがあるため、必ずしも都合の良いことばかりではありません。つきましては、本制度概要や長野県医学生修学資金貸与規定等を熟読し、本貸与制度の内容を十分理解してから信州大学学校推薦型選抜全国募集地域枠（長野県医学生修学資金制度あり）（医学部医学科）に志願されるようお願いいたします。

1. 長野県医学生修学資金貸与制度の概略

(1) 目的

信州大学または長野県が指定した大学の医学部学生に修学資金を貸与し、県内の公立・公的医療機関等で一定期間、診療に従事することを条件にこの返還を免除します。これにより、県内の病院で勤務する医師数を増やし、医師の偏在を解消します。

これと並行し、地域医療推進のための卒前・卒後教育プログラムに参加し、地域医療に資する能力を身につけます。

(2) 貸与額

月額 20 万円を貸与します。医学部在学 6 年間の総貸与額は 1,440 万円となります。

(3) 返還免除

卒業後に貸与期間の 1.5 倍の期間を知事が指定する医療機関で研修・勤務した場合、全額返還が免除されます。6 年間修学資金が貸与された場合の義務年限は 9 年間です。この内、最初の 5 年間（初期臨床研修と専門（専攻医）研修）は県内の病院（研修指定病院）であればどこでも研修可能です。その後 4 年間は県が指定する県内の国公立（国立、県立、市町立）病院・公的（赤十字、長野県厚生連）病院等へ勤務します。

(4) 貸与の停止

この修学資金の貸与は「全国募集地域枠（長野県医学生修学資金制度あり）」での出願・入学の必須条件であるため、医学部在学中は修学資金の貸与を自ら停止または返還することはできません。ただし、留年する場合や、休学または停学処分を受けた時は、進級・復学するまで貸与を停止します。

(5) 貸与の取消

2 年以上留年する場合は貸与を取消します。

(6) 返還

以下のケースに該当する場合、修学資金の返還を行うことになります。

- ① (5)により貸与を取消した場合
- ② 医師国家試験に2回以上不合格の場合
- ③ 知事が指定するへき地医療機関等における業務に従事しなかった場合

なお、返還額は貸与額に貸与を受けた日の翌日から返還事由が生じた日までの日数に応じ年10%の利息が加算されます。また、全国募集地域枠（長野県医学生修学資金制度あり）にて入学した受験者は、修学資金を一括返済したとしても全国募集地域枠（長野県医学生修学資金制度あり）による入学者としての実績は残り、初期研修・専門研修において制限を受ける場合がありますので注意してください。

(7) 地域医療教育プログラム（キャリア形成卒前支援プラン）

貸与者は、地域医療推進のための卒前・卒後教育プログラムに参加します。この教育プログラムは、大学のカリキュラム及び長野県で定めたプラン（長野県医学生修学資金貸与者卒前支援プラン）を通して、地域で活躍できる医師としての幅広い診療能力と地域医療マインドを身につけます。

長野県医学生修学資金貸与者 卒前支援プラン

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
①スタートアップセミナー	②地域医療の現場研修会	③各種研修会等への参加	④各種研修会等への参加	⑤各種研修会等への参加	⑥各種研修会等への参加
			⑦各種研修会等への参加	⑧各種研修会等への参加	⑨県と医師国家試験合格者との懇談会
			※県内臨床研修病院合同説明会	※県内臨床研修病院合同説明会	医師国家試験

※③～⑧の各種研修会等とは、信州医師確保総合支援センターが毎年度企画する下記の研修会のこと。

【主な研修等】

- ・夏季交流会
- ・春季研修会
- ・秋季研修会 等

2. 義務年限内の研修および勤務病院と配置の基本方針

<キャリア形成プログラムの一例>

義務年限の9年間（6年間修学資金が貸与された場合）について説明します。

(1) 研修期間（計5年間）

卒業後の初期臨床研修2年間と専門（専攻医）研修3年間は県内の病院（研修指定病院）であればどこでも研修可能です。

(2) 勤務期間（計4年間）

5年間の研修後は、県が指定する公立・公的病院等へ4年間勤務します。この4年間の内、1年間は中核病院、3年間は医師不足病院での勤務となります。

中核病院としての勤務先は、基本的に本人および医局（信州大学の医局に入局している場合）の意向と中核病院でのニーズで決定します。医師不足病院としての勤務先は、各医師不足病院の状況を考慮して、最終的に県が決定しますが、事前に本人や医局の事情を聞き、必要と判断される場合はこれらの事情を考慮します。

「中核病院」は高度・先進的な医療の実施や医師養成の専門的研修機能を有する病院、「医師不足病院」は地域の医療ニーズ、勤務する医師の充足状況等から医師不足と判断する病院と定義します。

医師不足病院での業務は、総合診療、一般内科、一般外科、救急を基本とします。ただし、これら以外の診療科においても医師不足状況にあることから、貸与医師が選択した専門科での勤務について

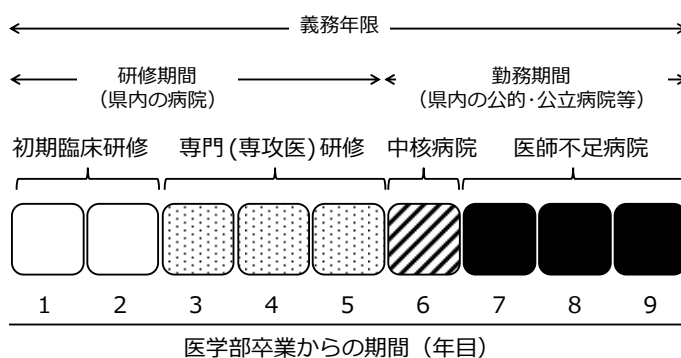


図 修学資金貸与者の義務年限と勤務期間

も、地域の医療ニーズや指定勤務先の医師の充足状況等に応じて考慮します。特に、産婦人科などの地域において医師不足が特に著しい診療科については弾力的に運用します。

3. 医師としてのキャリア形成

(1) 専門医の取得

一人前の医師として活躍するためには、関連学会が認定する専門医を取得することが推奨されます。専門医には19の基本領域（内科、小児科、皮膚科、精神科、外科、・・・、総合診療科）があり、その上に、サブスペシャリティ領域があります。専門医の取得には、各学会が指定する研修病院で決められた期間の研修を行う必要があります。修学資金貸与者でも卒後6年目の中核病院勤務までは基本的に学会の指定する研修病院に勤務することが可能ですので、ほとんどの基本領域の専門医は通常通り取得可能と考えられます。サブスペシャリティ領域の専門医はその取得に更に年数を必要としますので、領域によっては取得が何年か遅れる可能性があります。

(2) 大学院進学や基礎医学研究者への道

大学院へ進学し医学博士号を取得することは十分可能です。県の指定する病院へ勤務する期間においては、社会人大学院生として入学し勤務しながら研究を行うことができます。一般大学院生（一定の期間、研究のみに従事）としての入学や基礎医学の領域に進み研究者になることを目指す場合は、返還免除となる義務年限の終了まで待つ必要があります。

4. Question / Answer

Q1: 義務年限内に出産する場合はどうなるでしょうか。

A1: 出産予定日（出産日）の前後8週間（2か月）は義務年限内としてカウントされます。それ以上の産休・育休はカウントされず、休んだ期間分義務年限が延長となります。

Q2: 病気等の不可避の理由で留年した場合はどのようなになるでしょうか。

A2: 留年期間中は貸与を停止します。また、理由にかかわらず、通算して2回留年した場合は修学資金の貸与決定を取り消し、同資金を返還することになります。

Q3: 義務年限中に国内外に留学することは可能でしょうか。

A3: 原則として県内で研修、勤務するため国外留学は認めていません。国内（県外）については、知事が特に必要と認めた場合に限り3年を限度に研修を受けることは可能です。この期間は義務年限には含まれません。

Q4: 医師不足病院に勤務中、自身の専門科とは異なる科の診療を行う場合もあるようですが大丈夫でしょうか。

A4: できるだけ貸与者の専門科で診療ができるよう配慮します。ただし、貸与者自身もできるだけ幅広い疾患に対処できるよう研修を積むことが推奨されます。このためのサポートも卒前・卒後教育で行います。

<長野県医学生修学資金貸与制度に関するお問い合わせ>

長野県健康福祉部医師・看護人材確保対策課

TEL : 026-235-7144 FAX : 026-235-7377 mail : shugaku@pref.nagano.lg.jp

受験番号	(記入不要)
------	--------

説明事項確認書

私は長野県医学生修学資金貸与制度について説明を受け、以下の事項を理解いたしました。

*** 確認したら□にチェックを入れてください。**

- ☐ 本全国募集地域枠（長野県医学生修学資金制度あり）制度は地域医療を担う医師を養成し、医師不足や地域偏在の問題解消することを目的としたものである。
- ☐ 修学資金貸与者は、地域医療を推進するための卒前・卒後教育プログラムに積極的に参加し、地域で活躍できる医師としての診療能力と態度を身につけなければならない。
- ☐ 貸与期間の 1.5 倍の期間を知事指定の医療機関で研修・勤務した場合、全額返還が免除される。
- ☐ 在学中は修学資金貸与を自ら停止、返還することはできない。
- ☐ 2 年以上留年する場合は貸与が取消しになる。
- ☐ 貸与が取消された場合、医師国家試験に 2 回以上不合格の場合又は知事が指定するべき地医療機関等における業務に従事しなかった場合は修学資金を返還することになる。返還額は貸与額に貸与を受けた日の翌日から返還事由が生じた日までの日数に応じ年 10% の利息が加算される。
- ☐ 修学資金を一括返済したとしても全国募集地域枠（長野県医学生修学資金制度あり）による入学者としての実績は残り、初期研修・専門研修において制限を受ける場合がある。
- ☐ 卒業後の初期臨床研修 2 年間と専門（専攻医）研修 3 年間は県内の病院であればどこでも研修可能である。
- ☐ 卒後 5 年間の研修後は、県が指定する公立・公的病院等へ 4 年間勤務する。この 4 年間の内、1 年間は中核病院、3 年間は医師不足病院での勤務となる。
- ☐ 医師不足病院での業務は、総合診療、一般内科、一般外科、救急を基本とする。ただし、貸与医師が選択した、これら以外の診療科での勤務についても、地域の医療ニーズや指定勤務先の医師の状況等に応じて考慮する。
- ☐ 多くの基本領域の専門医資格は通常通り取得可能と考えられるが、一部の基本領域およびサブスペシャリティ領域の専門医は、領域によっては取得が何年か遅れる可能性がある。
- ☐ 一般大学院への進学や基礎医学研究者の道を進むには、義務年限内のスケジュールを考慮して計画を立てる必要がある。

令和 年 月 日

受験者（自署） 住所

氏名 ⑩

保護者（自署） 住所

氏名 ⑩ （続柄 ）

受験番号	(記入不要)
------	--------

確 約 書

信州大学医学部長 殿
長 野 県 知 事 殿

令和 年 月 日

受験者（自署） 住所

氏名 印

保護者（自署） 住所

氏名 印（続柄 ）

私は、令和7年度信州大学医学部医学科学学校推薦型選抜（全国募集地域枠（長野県医学生修学資金制度あり））において、合格した場合は、必ず信州大学医学部医学科に入学することを約束いたします。

また、将来、長野県内で地域医療を担う人材となるべく、長野県医学生修学資金の趣旨や内容について、別添「地域枠での長野県医学生修学資金貸与制度について」を十分理解し、別添「説明事項確認書」の記載事項に同意した上で、入学後、長野県医学生修学資金を受給し、卒業後は長野県知事が指定する県内医療機関において、貸与期間の1.5倍の期間勤務することを確約いたします。

令和 年 月 日

(推薦者)

学校名

学校長 印

上記の者は、長野県内で地域医療を担う人材となるべく、上記の内容を確約できる者であることを認め、推薦いたします。